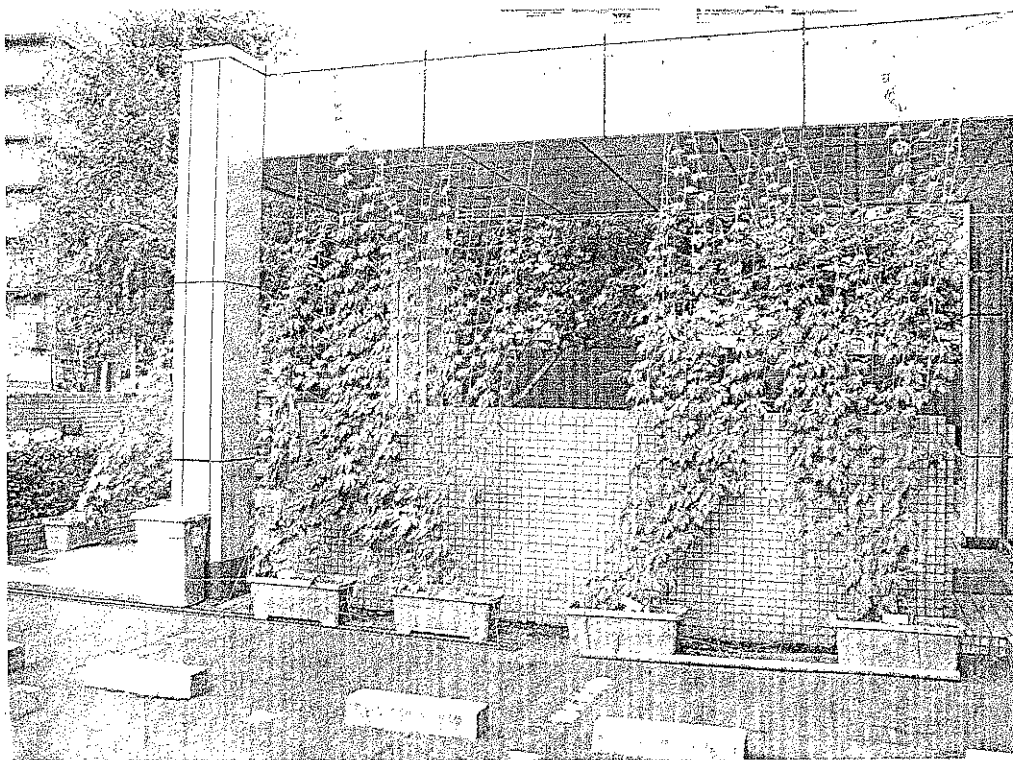


スターダスト

東京清掃労働組合
新宿支部
女性部広報誌

緑のカーテン

環境対策課で温暖化対策事業のひとつとして行われている緑のカーテン。新宿区内多数の公共施設で行われています。



元気に育つ緑のカーテン

新宿清掃事務所では5月の初めにゴーヤの種を蒔きました。芽が出てきて6月20日にプランターに植え替えました。一つのプランターに2つ、13個のプランター計26のゴーヤが新宿清掃事務所玄関を中心として4mのネットにつたを伸ばしています。7月22日頃から実ができて初めました。1つの苗から多いと100個もの実をつけると言われていました。新宿中継所では16個のプランターでゴーヤを育てています。たくさん収穫した後はゴーヤパーティーを開こうと、城倉副参事はおっしゃっていました。

温暖化対策のひとつとして興味のある方ご自宅で緑のカーテンを作ってみては？

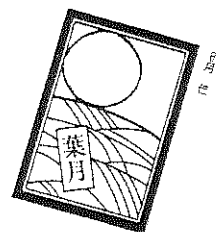


星くず通信

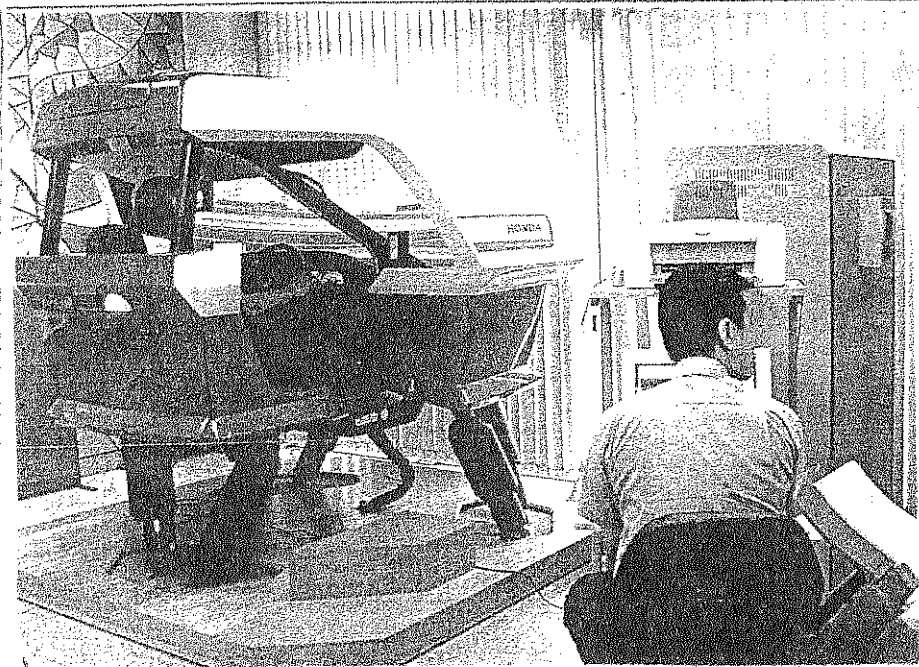
☆練馬区石神井清掃事務所 谷原事業所に勤務されていた木寄茂夫さんが難病の為、平成20年3月31日付をもって、傷病退職されました。木寄さんは平成3年4月～平成12年3月までの8年間、新宿清掃事務所に勤務していました。

練馬総支部からの育英支援の要請を受けて、新宿支部でもカンパに取り組み232、109円の支援金が集まりました。

☆夏の自治労闘争資金は正規職員207名、再任用39名から集金されました。



エコドライブ講習会 に行ってきました☆



ドライビングシュミレーターによるエコドライブテスト

7月25日(金)、江東区にある東京都環境科学研究所において23区合同の「エコドライブ講習会」が行なわれた。

新宿清掃事務所からは、車両担当の石田主査、運転職員の細田主任・和田主任の3名が参加。講習会前半には、エコドライブの重要性・全てのドライバーを対象としたエコドライブ普及対策等の学習会を行い、後半には研究所内にある自動車排出ガス計測設備や太陽電池等エコ施設の見学・ドライビングシュミレーター試乗によるエコドライブ体験(評価テスト付)を行なった。

実際にエコドライブ体験をした細田主任は、「想像していたよりアクセルワークが難しかったですね。講習会を受ける前は、エコドライブをあまり意識する事がなかったけれども、今はできることから少しずつ、運転職員のみんなと取り組んでいきたいと感じています。また、このような講習会があれば積極的に運転部門全体で参加し、エコドライブから安全運転につながっていきたいですね」と感想を語った。

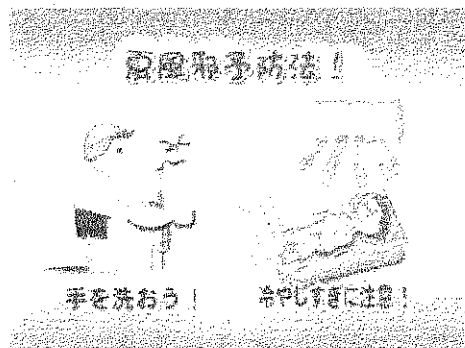
エコドライブ10のすすめ

エコドライブ普及連絡会資料より

- ① ふんわりアクセル「eスタート」
- ② 加減速の少ない運転
- ③ 早めのアクセルオフ
- ④ エアコンの使用を控えめに
- ⑤ アイドリングストップ
- ⑥ 暖機運転は適切に
- ⑦ 道路交通情報の活用
- ⑧ タイヤの空気圧をこまめにチェック
- ⑨ 不要な荷物は積まずに走行
- ⑩ 駐車場所に注意

夏風邪に

注意!



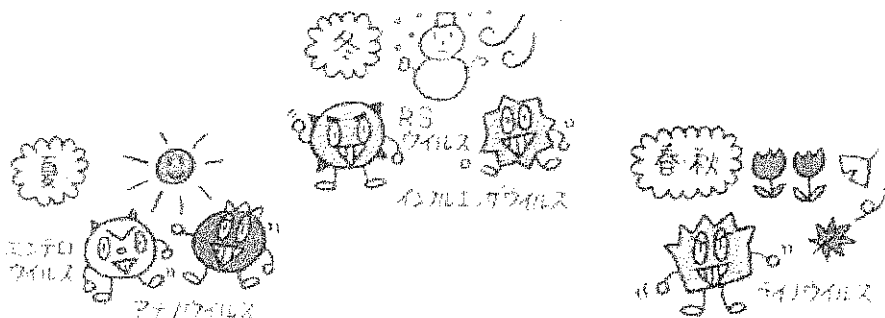
夏かぜってほかのかぜとどう違うの?

感染するウイルスの種類が異なります

かぜの80~90パーセントはウイルスの感染が原因で起こりますが、そのウイルスの数は200種類以上あるといわれます。多くのウイルスは寒くて乾燥した環境を好むため、冬にかぜ(普通感冒)やインフルエンザが大流行しますが、なかには暑くて湿度が高い夏の環境を好むウイルスもいるのです。エンテロウイルス(コクサッキーウイルス、エコーウイルスなど)やアデノウイルスがその代表で、胃腸障害を伴うことが多い夏かぜの原因となっています。

一方、のど、鼻の症状や発熱を伴うことの多い冬のかぜは、RSウイルス、コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどが原因で起こります。春や秋にはライノウイルスが原因で起こるケースが多くなります。

<ウイルスの違い>



夏風邪予防

夏かぜのウイルスは増えるスピードが速いため、体力が低下している人、つまり夏バテしている人が、かかってしまうことが多いのです。夏かぜを引き起こすウイルスは、手から手へ、手から口へと感染するケースが多いので、手を洗うことが大切です。またエアコンによる冷やしすぎも禁物です。エアコンで空気も乾燥しているし、さらに外気温と室温の差が激しいので、体に負担がかかり抵抗力もおちてしまいます。眠るときに暑いからといってエアコンをかけたまま寝てしまうのは夏風邪をひく原因になるので要注意です。安静にしていれば、ばまないうちに室温を調節し、冷房の風には直接当たらないように気をつけましょう。

